

なぜ 失敗するのかを知れば
選び方が変わる

オフショア開発パートナーの

見抜き方



オフショアは失敗するのが当たり前。依頼先は慎重に選んでほしい。

オフショア開発は、海外の開発拠点を活用して人件費を抑えながら、大規模かつスピーディな開発を進められる手法です。

しかし、言語や文化の違い、タイムゾーンのズレなどによりコミュニケーションが滞ると、プロジェクトの失敗リスクが高まるという特徴もあります。

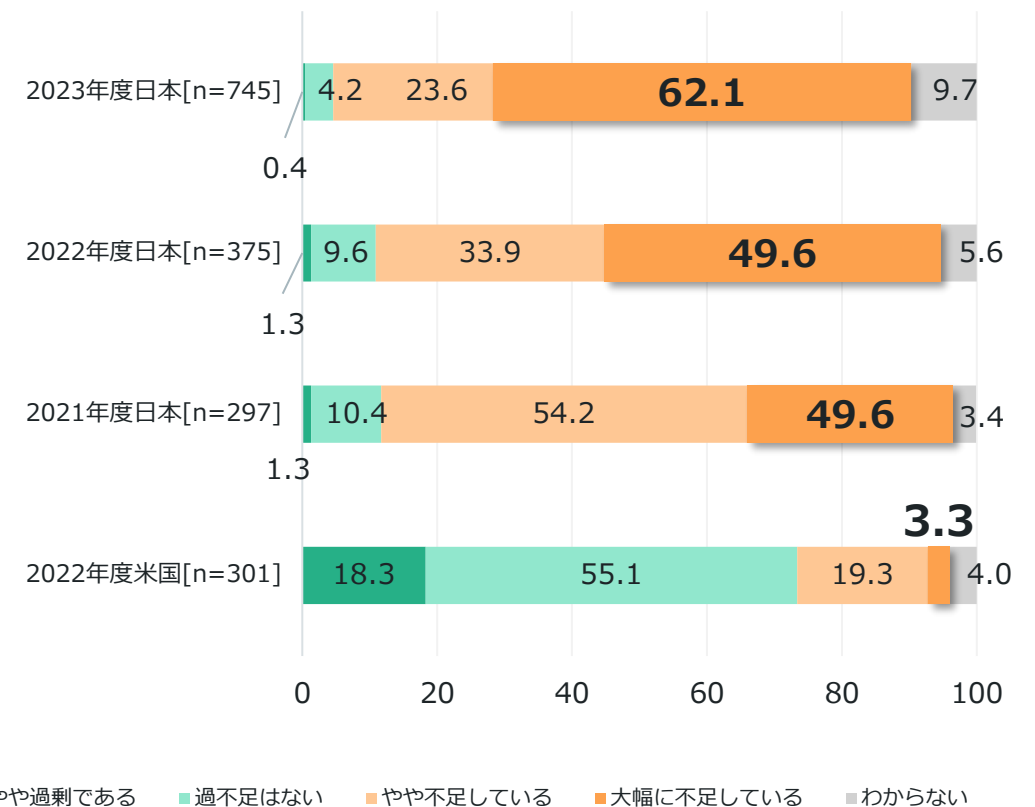
一方、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）の調査「DX動向2024」によると、**2023年にはDX人材が「大幅に不足している」との企業が62.1%**にのぼり、国内リソースだけでは十分な開発体制を構築できない事例が増えてきました。

その結果、**リソース不足を補う手段**として、**オフショア開発を積極的に検討する企業が増加**しています。

本書では、オフショア開発のメリットとリスクを整理するとともに、依頼先企業を見極める際に押さえておきたい着眼点や、スムーズなコミュニケーション体制のポイントを具体的に解説します。

これからオフショア開発を検討する際の指針として、ぜひご活用ください。

DXを推進する人材の「量」の確保（経年、日米比較）



（出典）DX動向2024 - 深刻化するDXを推進する人材不足と課題 | 社会・産業のデジタル変革 | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構, DXを推進する人材の過不足状況の経年変化, 図2-1 DX を推進する人材の「量」の確保（経年、日米比較）, <https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/discussion-paper/f55m8k00000039kf-att/dx-talent-shortage.pdf>

オフショア開発のよくある課題

オフショア開発には、コストやコミュニケーション、品質管理など多面的な課題が潜んでいます。海外企業とのやり取りが増える分、国内開発よりリスク要因が多岐にわたるのが特徴です。

コスト

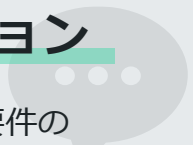


為替変動や追加要件などの見積もり
精度不足による上振れ

隠れたコストの見落としによる
後工程でのコスト増

- ・ 通訳やブリッジSEの人件費
- ・ 国内側のマネジメントコスト など

コミュニケーション



言語・文化の違いによる要件の
解釈や課題やフィードバックに
対する対応の違い

時差によるコミュニケーション
密度や頻度の低下

品質管理



品質管理プロセスの実施レベルや
品質基準の違い

- ・ 開発物（コードやドキュメント）
- ・ テスト工程の実施
- ・ レビュー体制 など

エンジニアのスキルセットや
経験のばらつきによる開発品質にムラ

PICK UP



注意しておきたい システム開発の契約

国や企業ごとに契約慣習が異なるため
下記を確認しておくこと

- ✓ 納期遅延や追加作業時の費用負担
- ✓ システム契約に適用される準拠法

日本企業の場合

日本法に基づく契約書で、納期・費用・追加要件の対応範囲や
裁判管轄などを明確に定義し、責任範囲を明文化した形態が理想



プロジェクトを成功に導くオフショア開発企業を見抜くポイント

オフショア開発の成功確度を高めるには、企業選定の段階で「見積もり・契約」「コミュニケーション」「品質管理」の三つの視点をバランスよく検討する必要があります。



見積もり・契約の提案内容

- 通訳費やブリッジSE費用、打ち合わせ工数など、見落としがちなコストも含めて明瞭に提示されているか
- 為替リスクや物価上昇など、海外特有の変動要素を考慮した契約条件が整備されているか
- 準拠法や裁判管轄、追加費用発生時の範囲などが明文化されているか



コミュニケーション体制

- PMやエンジニアが日本語・英語の両方を使い分けられるか
- 文化やビジネス慣習のギャップを埋める仕組みが整っているか
- 時差や作業時間の違いを考慮した連絡手段・頻度が担保されているか



開発・テスト・トラブル対応 (品質管理)

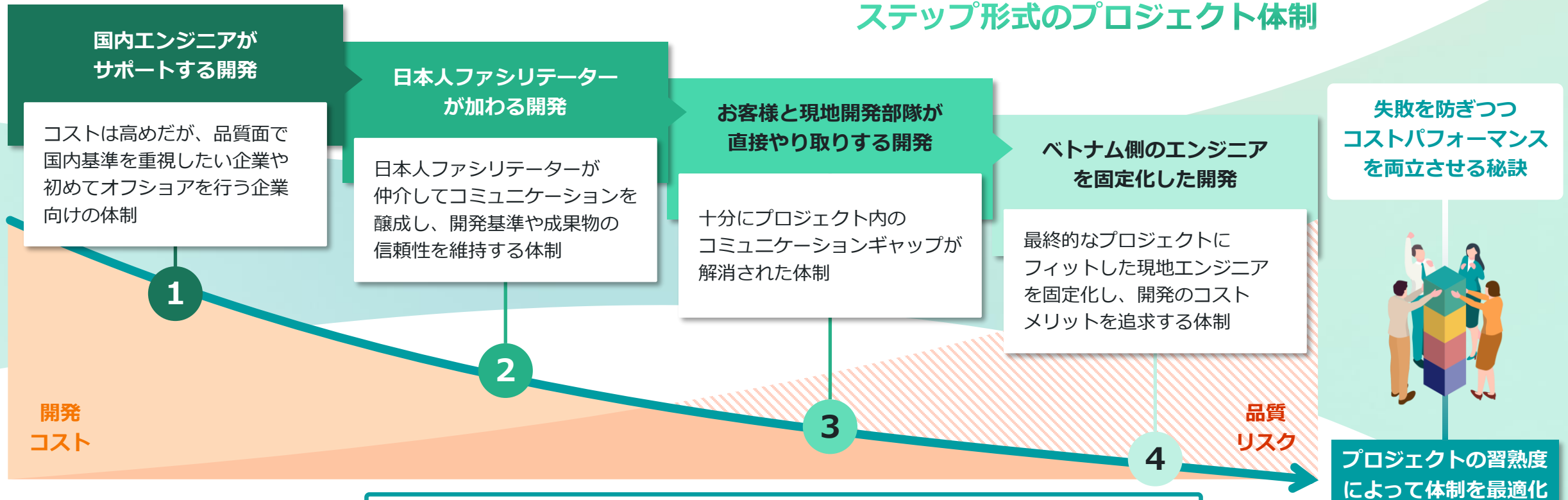
- 品質基準やテスト工程、レビュー体制が組織的に運用されているか
- スケジュール遅延や不具合が発生した際の対策や要員補填など、リカバリー方法が確立されているか

失敗しないオフショア開発企業はここが違う！

オフショア開発のメリットを最大限に活かすには、単にコストだけではなく、国内基準の品質管理や柔軟なコミュニケーション体制が不可欠です。

国内基準の品質と円滑なコミュニケーションを実現する

ステップ形式のプロジェクト体制



お客さまの要望（品質重視・コストメリットの追求など）に合わせた体制移行を支援

トッパジャパンは上記の仕組みで、失敗しやすいオフショア開発でも国内基準の高品質かつ信頼性を維持したサービスを提供

成功確度を高めるトッパジャパン式オフショア開発の秘訣（1/2）

トッパジャパンが提供するオフショア開発には、**契約リスクを軽減できる国内法人としての強みや、日本文化を理解したIT人材**を活用できるメリットなどがあります。

01

国内企業との契約手続き・円建て取引



トッパジャパンは日本法人であるため、海外企業との複雑な契約手続きが不要



円建ての取引を基本とすることで、為替レートの変動リスクを抑えられ、予算管理が容易



日本法に基づいた契約書を交わし、納期や費用面での責任範囲を明確化

02

日本文化教育を受けた高度なIT人材

ベトナムのエンジニアは日本語やビジネスマナー、日本の文化理解などの教育プログラムを受講

ITSSレベル3(*1)相当のスキルと、日本語能力試験N3以上の言語力を兼ね備えた人材を配属

*1 ITSSレベル3 … 独力で業務を進めることができるレベル

異なる文化背景を持つエンジニアともスムーズに意思疎通を図るための体制が整備されている



成功確度を高めるトッパジャパン式オフショア開発の秘訣（2/2）

ベトナムの開発チームを統率する日本のエンジニア・ファシリテーターの存在と、プロジェクトの習熟度に合わせた開発プロセスの提案は、トッパジャパンならではの強みです。

03 日本人SE・ファシリテーターおよび 現地PMによるマネジメント

日本のエンジニアとファシリテーターが
ベトナム人プロジェクトマネージャーと連携



要望や仕様を開発
メンバーへ正確に伝達



お客様が開発エンジニアに
直接指示を行う場合

日本人ファシリテーターがサポートに
入りコミュニケーションの齟齬を防ぐ

04 オリジナル開発プロセスで 品質の安定化とコストメリットを実現

お客様のオフショア開発
の経験値を考慮

プロジェクトの習熟度に
合った開発体制への移行

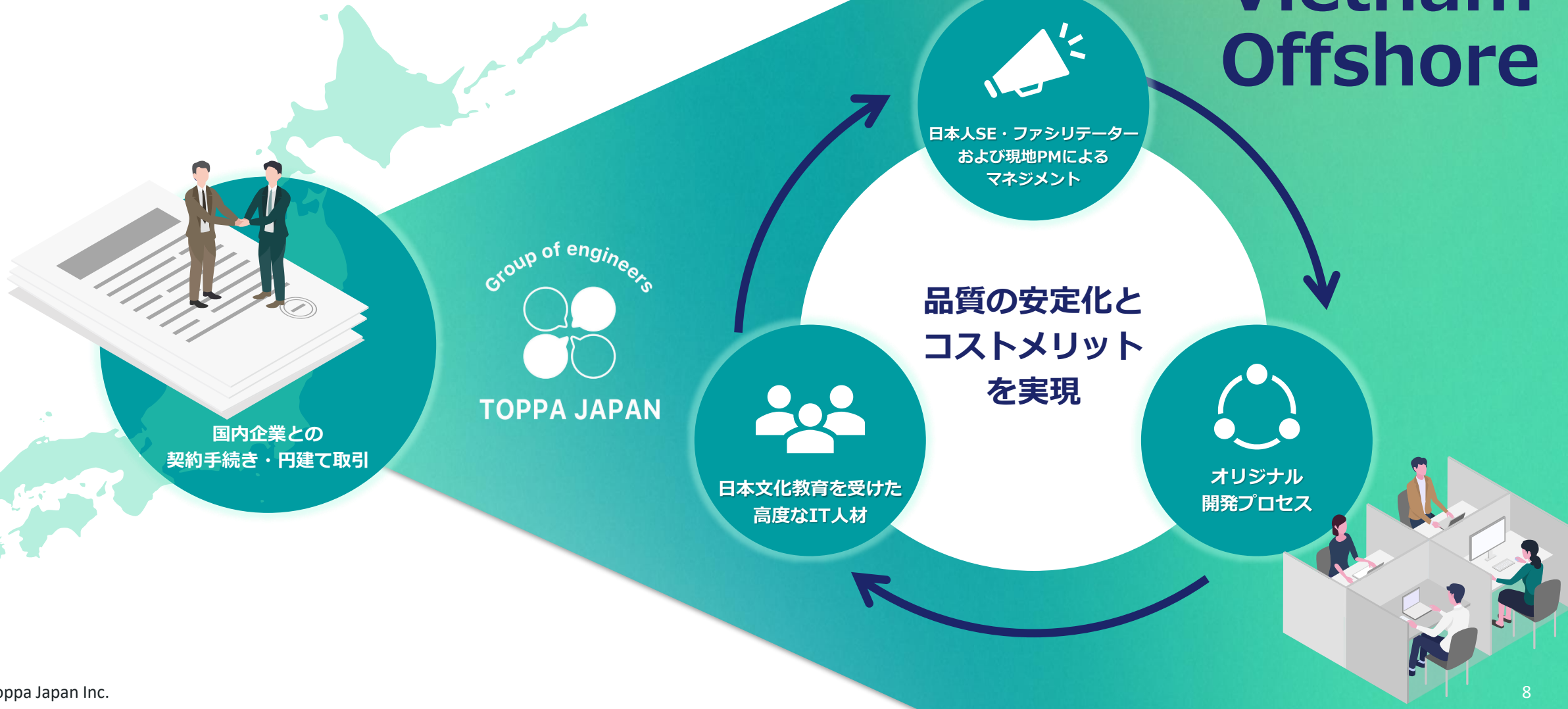


リスクを抑える段階的な体制構築の提案で
品質とコストパフォーマンスを両立した開発体制を実現

成功確度を高めるトッパジャパン式オフショア開発の全体像

トッパジャパンでは、下記の仕組みでお客様に安心してご依頼いただける
オフショア開発サービスを提供しています。

Vietnam Offshore



まとめ | 失敗しないオフショア開発パートナーの見抜き方

オフショア開発の成功要因は、見積もり・契約、コミュニケーション体制、そして品質管理という三つの要素に大きく左右されます。

品質もコストも欲張るなら、
コミュニケーションが
鍵になる。



中でも「円滑なコミュニケーション体制を実現する仕組み」はプロジェクト全体に深く関わります。

要件定義の正確性

開発プロセスのスムーズさ

最終的な品質と納期

これらを大きく左右するため、単に言葉が通じるというだけにとどまらない、文化理解や日本の商慣習を踏まえたコミュニケーション力が欠かせません。

トッパジャパンは、長年にわたりベトナム開発拠点と協力し、お客様のオフショア開発を成功へと導いてきました。

豊富な実績

多数のプロジェクト運営で
培ったノウハウ



確かな連携体制

日本側と現地エンジニアの
役割分担を明確化



高い信頼性とコストバランス

コミュニケーションを要とした
最適な開発環境の提供



これらにより、お客様が求める「品質」と「コスト」のバランスを実現し
お客様の事業を前に進めるオフショア開発サービスを提供しています。

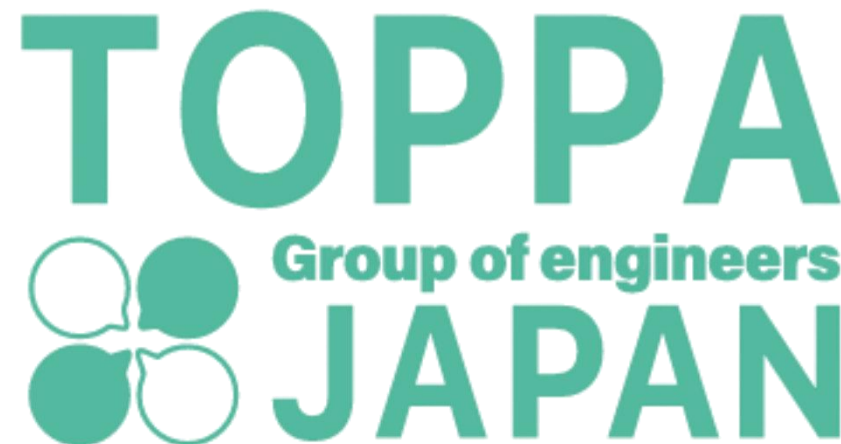
オフショア開発に関するお悩みは トッパジャパンにご相談ください

コミュニケーション・品質・対応

「国内基準」のオフショア開発サービス

私たちが提供するの、ベトナムの開発チームによる
オフショア開発。

幅広いスキルを有するエンジニアチームによる
高品質・安心の開発サービスを
柔軟かつコストパフォーマンスよく提供します。



お問い合わせはこちら

相談してみる →

記憶に、心に、残る仕事

トッパジャパン株式会社

設立

2022年

代表者

大川 吉昭

所在地

[市原事務所] 〒290-0062 千葉県市原市八幡961 今井事務所 1F

本社所在地

〒290-0051 千葉県市原市君塚1丁目28番4

資本金

1,000万円

開発拠点

TOPPA SOLUTIONS(ベトナム)

オフショアに関する
コラムはこちら

